

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

実施時期	科目名	曜日・時 限	授業時間	定員
【大学】 2022年度 秋学期 (9月～1月)	地域社会論	火曜3限 金曜4限	13:00～14:30 15:20～16:50	若干名
	日本文学史(上代・中古)	金曜2限 金曜3限	10:40～12:10 13:00～14:30	若干名
	精神科リハビリテーション学A	木曜1限	9:00～10:30	若干名
	精神科リハビリテーション学B	木曜2限	10:40～12:10	若干名
	福祉心理学	月曜5限	16:20～17:50	若干名

※ 授業回数について

◇週1回授業(15回)

精神科リハビリテーション学A、精神科リハビリテーション学B、福祉心理学

◇週2回授業(30回・週1回2時限連続を含む)

地域社会論、日本文学史(上代・中古)

※ 受講人数により開講しない場合がございます。

※ 学事スケジュールの都合により一部授業日等変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 授業は9月26日(月)から開始します。

(2) 場 所

聖学院大学キャンパス

JR 高崎線宮原駅から徒歩 15 分、または学生バス

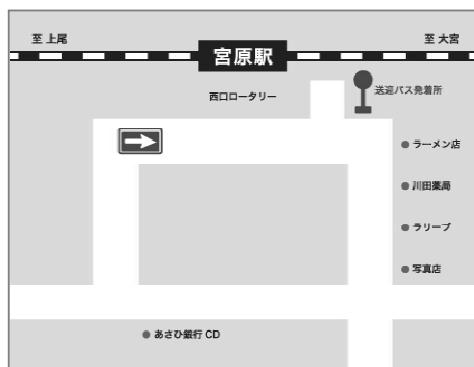
JR 埼京・川越線西大宮駅から学生バス

JR 埼京・川越線日進駅から徒歩 15 分

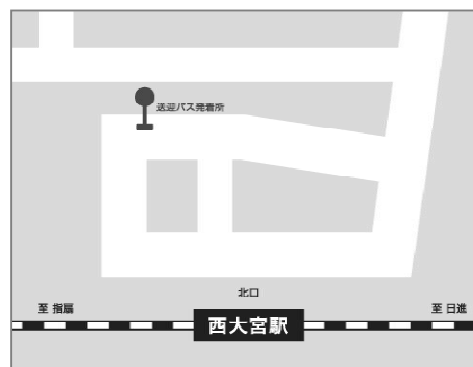
※学生バスは利用券を購入いただきます。

※車での通学はできません。

【宮原駅西口(高崎線)のりば】



【西大宮駅西口(埼京・川越線)のりば】



2 受講料等

- (1) 受講料 週1回科目 5,000円
週2回科目 10,000円

※ 受講料は、後日指定方法にて納入いただきます。

※ 一旦納入された受講料につきましては、お返しができませんので、あらかじめご了承ください。

- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和4年8月31日(水) 消印有効

(2) 申込先 〒362-8585 上尾市戸崎1-1
 聖学院大学 学務部教育支援課 リカレント教育係
 電話：048-780-1801
 E-mail：acadaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(3) 申込方法

E-mail または はがきにて、以下の事項をもれなく記入のうえ、お申し込みください。

- ① 郵便番号、住所、電話番号
- ② 氏名
- ③ ふりがな
- ④ 年齢(令和4年4月1日現在)
- ⑤ 性別
- ⑥ 受講希望科目(希望順に記入、何科目でも可)

(4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 (受講の可否および受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)

(5) その他

受講許可科目、ガイダンス日時等は9月10日前後にお知らせいたします。
 その際に、個人調書等のご提出をご案内いたします。
 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、早めにご連絡ください。

社会情勢(コロナウィルス感染状況等)ならびに授業担当者の都合により、授業の一部をオンラインにて受講いただく可能性がございます。その場合は、大学ではなくご自宅等での受講となりますので、インターネット通信環境・インターネットに接続可能な端末等が必要です。通信料などは受講者負担です。

以上の点につきましても、予めご了承の上でお申し込みくださいますようお願いいたします。

オンライン授業を受講いただく際に必要となる操作につきましては、大学ホームページ(※)に説明動画を掲載しておりますので、併せてご確認ください。

(※)

https://www.seigakuin.jp/events/11_learn/

上記URL内「大学によるリカレント教育」をご参照ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>地域社会論 【若原 幸範】</p>	<p>生活の都市化・個人化が進んでいる現代社会においては、地域社会の役割・機能さらにはその存在自体が意識されにくい状況にある。しかし、地域社会は私たちの最も身近で日常的な生活領域であり、基本的な助け合いや力合わせの関係がある空間である。したがって、地域社会の衰退は、私たちの生活基盤そのものの危機を意味するのである。本授業では、地域社会の基本的なあり様について解説し、特にグローバル時代における地域社会の現代的課題とその克服について、具体的事例をふまえて検討する。</p>
<p>日本文学史(上代・中古) 【木下 綾子】</p>	<p>上代・中古（飛鳥時代～平安時代）の代表的な文学作品について、原文に触れながら基礎的な知識を学び、表現や主題、方法論の変遷を捉えます。概要は以下のとおりです。 日本は律令国家を形成するにあたり、中国の政治体制や学問、思想とともに漢字漢文を導入しました。神話や伝承、歌謡などの口承文芸は記載されるようになり、国史へと編成されていきます。漢詩漢文がさかんに創作される一方、漢字から仮名が生み出され、和歌が次第に公の場で詠まれるようになるほか、物語や日記が登場します。これらは、貴族文化の発展や後宮ではたらく女性たちの活躍にもなって、花開きます。のち、爛熟、退廃期を経て前代の検証が行われ、新風が拓かれます。</p>
<p>精神科 リハビリテーション学A 【小沼 聖治】</p>	<p>①精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 ②精神障害リハビリテーションの構成及び展開 ③精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 ④ 精神障害リハビリテーションの動向と実際</p>
<p>精神科 リハビリテーション学B 【小沼 聖治】</p>	<p>① 医療機関における精神科リハビリテーション（精神科専門療法含む）の展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割 ② 精神障害者の支援モデル ③ 地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 ④ 精神障害者のケアマネジメント</p>
<p>福祉心理学 【堀 恭子】</p>	<p>講義の前半では、主に援助者に起こっていることについて心理学側面から学び、後半では福祉現場において、援助者・被援助者・援助場面に起こりうることについて具体例を紹介し、各事例の心理社会的課題や支援について解説し、受講者と共に対人援助について考えていきたい。また、話題に上ることの多い虐待・DV、高齢者支援、貧困がもたらす心理状態と課題、障害とソーシャル・インクルージョン、セルフヘルプグループなどについては、心理的側面から詳細に述べていきたい。ほぼ毎回受講者間でのグループディスカッションを通して学びを深めていく予定である。</p>